

確かなまなびと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立 三国丘幼稚園
園長 田中 章恵

令和7年度 重点目標

- ③ 3, 4, 5歳児の発達と学びの連続性を意識する
- 幼児期の終わり（小学校就学前）までに育みたい視点の共有
- 研究実践園の取り組みの充実
- 早期支援の観点の共有

まなびの現状 意欲的に自分で遊びを見つけ広げられる子、友達の遊びをまねして遊んでみる子、教師が誘ったら一緒にしたり遊びを見つけたりする子、遊びに興味をもちにくくじっとしている子、いろいろなものに興味の対象が移る子など様々な幼児がいる。一人ひとりが自分の思いを様々な形で表しており、特に大人に対して積極的な関わりを求める幼児の姿からは、家庭で愛されて育っていることが感じられる。家庭の愛情や人への信頼感を土台に、友達やクラス集団の中でも自分の思いを発信し、互いに遊びや生活をつくりだしていくような姿を育みたい。今年度も、一人ひとりの特性を理解した支援の工夫や、幼児の自立や自己充実感につながるような親子の関わりの啓発も併せて、幼児が主体的に人とかかわる力を育んでいきたい。

こころ・からだの現状

園内では、遊びや活動を楽しんでいる状況が多くみられる。自発活動ではほとんどの園児が好きな遊びを見つけて園庭でからだを動かしている。発育、発達上で個別の配慮や支援を必要とする幼児もあり、一人ひとりを正しく理解するとともに、集団の中での共生の教育をより一層進めていくために、遊びの中でお互いを分かり合い認め合う仲間づくりをめざして教育活動を進めいく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かにまなび	遊びを通して学ぶの育成	主体的・意欲的に遊ぶ中で友達と関わりを通して学ぶ幼児を育成する	一人ひとりの幼児の興味・関心を深める教師のかかわり方や環境構成を工夫する	幼児の変容を保護者アンケートや園内会議で検討、判断	個別聴取と書面による評価内容	年間	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・色水づくり、砂遊び、どろんこ、鬼ごっこ、ザリガニ釣りなど、一人一人が好きな遊びを見つけ存分に楽しむ姿が見られるようになった。 ・水遊びを楽しんだり、プールで少しずつ水に親しみ、顔をつけたり、泳いだりするなど意欲的に取り組むことができた。 ・5歳児は運動会に向けてそれぞれがめあてをもって取り組み、諦めない気持ち、友達と互いに認め合う姿が育った。 3,4歳児はごっこ遊びを織り交ぜながら運動遊びをしたことで、いろいろな運動遊びへの挑戦意欲が高まった。 ・友達と互いに見合う時間を意識して設けたことで、幼児同士が応援し合ったり、元気張りを認め合ったりする姿が見られるようになった。 		
			幼児の主体的な遊びや生活をつくりだしながら、その中で友達との関わり合いにつながる支援や環境構成を探る				<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わりをもてるように、幼児同士が互いの遊びを見たり感じ合ったりするような場設定をしたり、救急車、消防車ごっこでお面など同じものを身に着けたりすることで、友達を意識するようになってきた。 		
保育力の向上	3年間を見通した教育課程の研究と教師の実践力の向上を図る	今年度の研修目標を目指し研究保育・研修を通して実践的に学ぶ	研究保育の事後研での指導講評、公開保育時のアンケートの総括	個別聴取と書面による評価内容	年間	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育を実施し、近隣小学校や他園所の先生方と一緒に討議会をもつことができた。幼児の人と関わる力の育ちについて、大学教授の講話を一緒に聞いて学ぶことができた。 			
		教師一人ひとりが自己發揮し、各自の学びや幼児理解など積極的な交流と共有により、教師の資質を高め合う	幼教研各部会や実践記録交流などによる学びや、教育課程、研究保育への反映の実態			<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びの様子を写真にとり、教師の援助、環境構成を見直したり、幼児同士の関わりの変容やそこで生まれる学びについて考えた。保育を振り返ったり、自分とは違う視点を知ったりして保育につなげる機会となっている。 			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	自然や生き物に触れて感動する心を育てる	四季折々の自然の変化を素材にし身近な事業への関心を高める (近隣公園への散歩、登降園時の発見を生かした活動など)	興味関心の深まりを幼児の変容や保護者アンケートから検討、判断	個別聴取と書面による評価内容	年間	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の草花を摘んでの色水遊びや夏野菜の収穫、身近な草花に触れたり匂ったりして、様々な植物に親しむことができた。 ・登園途中に拾ったドングリや、園庭の落ち葉など身近な場所で出合う自然物で遊んだり制作したりすることを楽しんだ。 ・野菜の種まきや花の球根植えをして、植物の世話をしたり生長に関心を寄せたりした。 		
			動植物の生態に感動する場面に接することを通して命を大切にする心を育てる			<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の池でザリガニを釣ったり、触れて遊んだりする幼児が増えた。飼育しているカブトムシの幼虫の死や卵の誕生に出会い、生命の不思議に触れる体験ができた。 ・園庭にいる虫を捕まえたり、飼育している虫になってごっこ遊びを楽しんだりした。また、チョウを幼虫から育て、羽化するまでの過程をみんなで観察したり継続して見守ったりすることができた。 			
健やかな体の育成	日ごろからの保健・衛生意識をもち、力いっぱい活動する意欲を育てる	保健行事や衛生の啓発を通して健康への意識を高める	衛生（手洗い、トイレ等）のお話を各組行い、避難訓練（火災、地震、不審者）を毎月実施できたかで判断	個別聴取と書面による評価内容	年間	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児たちが興味・関心をもてるよう、各年齢の発達やクラスの様子に応じて、様々な方法で保健指導をしている。また、指導内容をホームページに掲載したり保健室前に掲示したりして、家庭とも連携・共有できるようにしている。 			
			避難訓練など安全な生活に向けた取り組みを通して命や安全に対する意識を高める			<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練の積み重ねにより、幼児は落ち着いて教師の指示を聞いたり行動したりするようになってきている。 			

子育ての支援 保護者や地域との連携	就学に向けた不安や子育ての悩み等の解消に向けた取り組みを行う	まめっこくらぶ、ふたばぐみなど、未就園児対象の園内での見学や体験等で園の雰囲気を知ってもらい、入園に関する手続きが円滑に進むようにする	9月願書配布からの相談、手続き等が円滑にできたかで判断	実施の状況	年間	○	・季節に合わせた制作や活動を毎月設定し、未就園児が保護者と共に楽しめるようにしている。就園前のふたば組では、椅子に座る・はさみを使うなど、入園後につながる取り組みをしている。また、PTAまめっこママの協力を得ながら、親子ともに遊んだり話したりしやすい雰囲気づくりを大切にしている。 ・保護者向けには、いつでも幼児のことを話したり相談したりできるような雰囲気づくりを園全体で心掛けている。配布文書で教育相談窓口や教育相談などについて知らせるとともに、必要に応じて個別の懇談会を設けている。		
	保護者向けの講話や懇談・教育相談などを通じて、保育・子育てについて相談しやすい体制にする	保護者アンケートや幼児・保護者の変容について、園内会議で検討・判断	実施の状況	年間	○				

園長より

学校関係者評価から